

「公共事業コスト構造改革プログラム」

【施策名：（２）計画・設計から管理までの各段階における最適化 【１】計画・設計の見直し】

管更生工法による工事コストの縮減

工事名：両筑平野用水二期 福田幹線水路屋形原他改築工事他3件

概要：（従来）

開削布設替え工法

⇒

（新）

管更生工法（非開削）

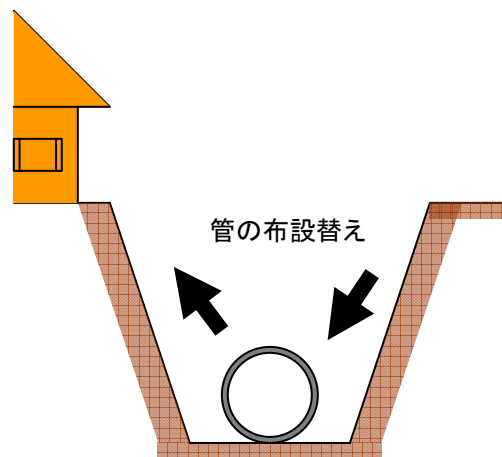
効果

- ① 従来の管水路老朽化対策は、開削により管を布設替えするものであったが、開削を行わずに管内面に更生材をライニングすることにより、工事コストを縮減。
- ② 非開削であるため、上部農地、住宅等への影響が抑えられ、その結果、環境への影響の軽減が図れ、事業の円滑な推進が可能となる。

■工事費を、233百万円から179百万円に縮減。

（縮減額 約54百万円、縮減率 約23%）

（従来）



（新）

